



学校図書館 司書だより

No.29 2017年12月



図書館クイズ

人気絵本エリック・カール作『はらぺこあおむし』で、あおむしが食べなかったものは次の中の何でしょう？

- りんご・バナナ・なし・すもも・いちご・オレンジ
- ピザ・ソーセージ
- さくらんぼパイ・はっぱ



本と読書

「電車とミステリーはセットです。」

鈴木 裕司

高校あたりまでの私は、『本を読まない子』だった。思いつくだけでも最後まで読めなかった本が、二冊しか思い出せない。読書感想文を書く機会もない。読書感想文を書く時、半分くらいしか読めていない状態で書いてしまうことが恥ずかしながらあったし、有名な「ハリー・ポッターシリーズ」は途中で挫折してしまっただけ。秘密の部屋は秘密のままだ。

「こんな自分でも、心に残っている一冊はある。それは、佐野洋子さんの『100万回生きたねこ』だ。正直、内容は全然覚えていない。この本は、幼少期通った産婦人科の本棚においてあった。診察を待つ間、母親が自分を膝に抱き、読んでくれた光景が、今でも思い浮かぶ。たぶん、その母親とのふれあいが、会話が、自分にとって嬉しい時間だったのかもしれない。理由はわからないが、私の心には残っている。」

100万回生きたねこ



次に、私が本と関わるのは大学生になってから。しかも、読みたいから読むのではなく、時間があるから暇つぶしに……という軽い気持ちで読みだした。私は、実家(岐阜県郡上市明宝の「ど」が付くほどの田舎)からは、はるかに遠い新潟県上越市にある教育大学に在籍していた。長期休業に帰省しようとしても、車で六時間はかかってしまう。当時、運転免許を持っていない

った私は、電車で富山まで向かい、そこから高山線で高山まで乗り継いで、帰っていた。特に「お金はないけど時間はある」大学生の私は、各駅停車の電車で帰っていたので、移動にかかる時間は十時間以上、午前中に出発したのに自宅に帰る時は夜。なんてよくあることだった。

大学一年の夏、そんな長い旅路のお供にと選んだ暇つぶしが「本でも読むか」だったのだ。そう思い立った自分は、書店の文庫本の棚で手ごろな本を探した。そこで、目についたのが、この後の私の読書ライフに火をつけることになった米澤穂信の「古典部シリーズ」第一作「氷菓」である。「氷菓」というタイトルは耳慣れていた。当時、丁度この古典部シリーズを題材にしたアニメーション「氷菓」にすぐくはまっていたのだ。舞台は、高山市となっており、作者の米澤穂信は、高山市出身だと知っていた。アニメを見て、内容は知っていたが、あの映像を文字で表現するには、どうしているのか、興味があつた。

読んでみると、ただの文字が自分の頭にアニメーションを映し出し、アニメでは描かれていない主人公の細かい描写が面白い。「ああ、なるほど」と良く考えられたミステリーに私は釘付けになっていた。

……あつという間に高山駅だった。それでも、まだ読み切れていなかった。実家について後にも部屋にこもって読んでいた。いつの間にか「暇つぶし」なんかでは、無くなっていた。

これ以降、帰省の度に、本を買うようになった。電車の中のひと時がたまらなく面白くなっていった。免許を取り、車に乗るようになってからも、わざわざ時間のかかる電車を選

んだ。

好んで読んだのは、米澤穂信の「古典部シリーズ」、三上延の「ピブリオ古書堂の事件手帖」、岡崎琢磨の「珈琲店タレーランの事件簿」など、『人の死なないミステリー』である。日常であり得そうな謎を少ない手がかりで、見事解いてしまう主人公には憧れてしまうし、「ああ！そういうことか！」という叙述トリックに、ついにはまってしまおう自分が悔しくも心地よい。ぜひ読んで欲しい。

後日談だが、三年ほど前、初任給で、「100万回生きたねこ」の猫が描かれたマグカップを両親にプレゼントした。

(あの産婦人科で膝に乗るほど小さかった自分が、自分の力でお金を稼ぐようになりました。)という秘密のメッセージを伝えたかったのだが、そんな気持ちは一蹴された。

「これ、なんの絵？」
……秘密は秘密のままがいいのかもしれない。

鈴木さんは、古井小6年生の担任をしておられます。体育専門、スノースポーツなんでもござれ！の先生です。今年のピブリオバトルのチャンプ本に選ばれました。

十月二十八日(土)第四回F10ピブリオバトル「子育てに本を」を開催しました。約七十人の参加者の前で、次の方々がおすすめの本を発表し、熱い思いを語ってくださいました。今回は三人の中学生も発表してくれました。図書館で借りられますので、是非読んでみてください。佐野陽介さん(双葉中)『日本百名山』深田久弥作 磯部莉帆さん(帝京可児中)『わたしのうち』神沢利子作 中島千尋さん(西中)『ちか100かいたてのいえ』

いわいとのお作

里見真美子さん『おぼけのヨックさん』西平あかね作

田口智子さん『いちばんしあわせなおくりもの』

宮野聡子作

鈴木裕司さん『このあとどうしちゃおう』

ヨシタケシンスケ作



読書タイム

市内の学校・園・施設の子どもと読書をのぞいてみました

北舎の一番端に位置している図書館。きつと、初めて学校を訪れた人は、「どこに図書館があるのさるう？」と思うはずだ。私も実際そうでした。しかし、一歩中へ入ると、

図書館司書の

先生方によって整備された書架、読みたい本がすぐに探せる掲示、充実した本のラインナップ。これは、もったいない。

「もつと図書館を利用して欲しい。」

そんな想いのもと、二年前に新設された文化委員会と共に、「図書館利用の活性化」に向けて様々な活動に取り組み、年間貸出冊数を四倍以上に増加させることができました。

西中学校

増加の最大の要因として、「本に触れる機会を増やしたことがあげられます。昨年度初めて、国語の授業に「ビブリオバトル」を取り入れました。自分が選んだ本を相手に紹介する。思春期ということもあり、人前で話すことに抵抗を感じるかなと思いきや、実際にやってみると、身振り手振りをしたり、本のページを見せたりしながら、本の面白さを伝える生徒達の姿がありました。「先生、どれも気になりすぎて選べないよ。」その本、次に貸してほしいな。」という声や、私自身、生徒の発表に感心させられることも度々ありました。

生徒たちにとって「きつかけ」があれば、興味をもってもらえる。今年の読み聞かせも、毎月、図書館内は生徒達で賑わっています。本を通して、心豊かな西中学校、西中生徒に、願いをもって今日も活動に励んでいます。

文化委員会作成の新聞

文化委員会は「図書委員会」とは違う。
文化委員会は本に関するより幅広い活動を通して、西中の文化を築くことに大切に取り組んでいます。一人ひとりが読書をもっと取り組んでいます。

1 朝読書の呼びかけ
西中は毎朝10分間、集中して本を読みます。8:10から机の上で本が読めるよう、呼びかけています。

2 朝読書の当番
1日1クラス、朝読書の時間に図書室を利用します。昼休みには他の生徒も図書室にも遊びに来る機会です。

3 学級文庫の管理
学級文庫をクラス全員が使いやすいよう、整理、確認をこまめに行っています。2ヶ月に1度くらいは新しい本を補充するようにしています。

4 7・7の阅读
7月7日、7年生、7年生等に2回ほど行っています。文化委員や先生の紹介も行っています。長期間の休みに読む本や適した本をオススメしています。

5 新聞の発行
委員に協力、楽しい新聞を毎月1、2回発行しています。クラスの子にインタビューするなど、生徒の声をとりいれたいと思っています。

6 読書の整理
学級文庫や図書室の書籍を文化委員が協力して整理しています。美しいだけでなく、本を探しやすいようにしています。

7 読書の楽しさを伝える活動
読書の楽しさを伝える活動として、月に1、2回行っています。先生や生徒が読書の楽しさを伝え、自分読書の楽しさを伝える活動を行っています。

今後
読書の楽しさを伝える活動として、月に1、2回行っています。先生や生徒が読書の楽しさを伝え、自分読書の楽しさを伝える活動を行っています。

えほん

「ひとりぼっちのかいぶつと いしのうさぎ」
クリス・ウオーメル作
徳間書店 1500円＋税



むかし、あるところに皆が逃げ出すほど姿のみにくいかいぶつがいた。でも、そのかいぶつは心優しく、明るく、純粋だった。友だちがほしいと願うかいぶつの前に、石でできたうさぎが現れた。絵本を読み終えた後の余韻にぜひ浸ってください。

物語

「ねずみのとうさんアナ トール」イブ・タイタス作
童話館出版 1300円＋税
家族を養うねずみのアナトールとうさんは、あるとき、人間にどるぼうよばわりされていることにがっかりします。そこで、自分にできる仕事をしして堂々と食べものををいただこうと考えました。得意なのはチーズの味見。果たして、とうさんねずみの働きは…



クイズの答え：バナナとピザは食べませんでした。「はらぺこあおむし」は発行後40年の今も日本で、アメリカでもいちばん読まれている絵本です。

この本読んでみて!

小説

「白狐魔記」①源平の風
斉藤 洋作
借成社 1300円＋税



大人向け

全6巻
「ぼくらは地方で幸せをみつける」ソトコト流ロカール再生論 指手 一正著
ポプラ社 800円＋税
ソトコトは「スローフード」「スローライフ」「ロハス」というライフ誌。今は「ソーシャル」という新しい価値観が加わり、地方で幸せを見つける若者を取材している。

若者の移住で人口を増やそうとするのはよくある政策だが、関係人口を増やすというのはご存知だろうか。自分の住んでいるところには何も無いと思いい込んでいませんか。彼らのみつけた幸せとは何か、暮らし方、働き方をのぞいてみましょう。



借成社